

小鳥が1mまで 寄ってきます

平成26年度版



平成27年1月6日(火)～2月28日(土)

時間／ 9:00 ～ 17:00 (解説は日曜、祝日の10:00～15:00)

場所／ 福井県自然保護センター(本館2階森の学習室)

生き物にとって冬は食べ物の少ないシーズンです。自然保護センターは、毎年、雪がたくさん積もる冬季限定で野鳥のためのエサ台を置いています。エサ台には、野鳥がやって来やすいように毎年、エサ台を新しくして鳥にも人のも楽しめる工夫をしています。エサ台には、ヒマワリのタネ、牛脂(牛のあぶら身)、クリ、カキなどを置いています。

● どんな野鳥がくるの？

小鳥では、ヤマガラ、シジュウカラ、アカゲラ、オオアカゲラなどで、ハトくらいの大さの鳥では、カケスがよく見られます。時には、キジに似て尾が長いヤマドリや、小鳥を狙って狩りをするハイタカも現れます。その他、野鳥ではありませんがリスやウサギも時々やってきます。



● どうやって観察するの？みどころは？

あたたかい室内から、窓越しに野鳥を観察します。野鳥は窓のすぐ近くまでやってくるので、肉眼で観察できます。みどころは、小鳥がヒマワリのタネをくわえて、くちばしでつついてタネのカラを取りのぞく様子です。屋外に小型マイクを設置してあるため、タネをくちばしでつつく音や、鳴き声をはっきりと聞こえます。



● 期間中の日曜日、祝日 10:00～15:00には、野鳥の先生がガイドしてくれます。鳥の名前や習性について詳しく聞くことができます。

- ガイドのお申込み／個人の場合は申し込みはいりません。参加費は無料です。10人以上の団体の場合は、自然保護センターに前日までに電話等でお申し込みください。(電話での受付は月曜日と休日の翌日を除く午前9時から午後5時)
電話：(0779) 67-1655 / FAX：(0779) 67-1656
E-mail：sizen@fncc.jp 担当：加藤

お知らせ

今年度は、写真撮影用の小屋を作成しました。カメラでの撮影を楽しみにしている方は、是非来てください。

- 主催：福井県自然保護センター 共催：福井県自然観察指導員の会
協力：日本野鳥の会 福井県

